

2025(令和7)年度 第5号

岩国市教育委員会 生涯学習課

地域連携教育だより

いわくに地域連携教育アドバイザー

岩国市HP



つながり

大上好久

令和7年6月15日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456

修成小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

図書室が 地域住民と子供の 夢の空間に !!

文部科学省は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編＜第4章第1節2の(5) 家庭や地域の人々との連携＞の中で、次のように述べています。「特別活動は、各種の活動の機会を捉えて、多様な人々へと交流を広げるようにするとともに、誰ととも温かい人間的な触れ合いができるようにすることなどに配慮して、指導計画を作成することが大切である。…例えば、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の枠組みを積極的に活用することも望まれる。」

本号では、図書室の掲示物を地域住民が中心となり、子供とともに作成している修成小学校を紹介します。

図書室の掲示物を 子供とともに作る わらべサロン(地域団体)の活動 【修成小学校】

上手だね。作るの楽しいね。 <地域住民>

メダカを作りました。川を泳いでいるみたいです。 <子供>

今月のテーマは「お山のほそみち」です。5・6年と一緒に作りました。子供たちはタブレットで動物の写真をしながら工夫して作っていました。素晴らしいです。 <地域住民>

飾りを作るの大好きです。楽しいです。 <子供>

材料は、廃材や包装紙、お菓子の包み、人工の桜葉など工夫して集めています。SDGsです。 <地域住民>

「十五夜お月さん」の歌は少し寂しいね。 <子供>

わらべサロンの皆さんの掲示に合わせて、童謡を歌う会では、毎月、子供たちと一緒に歌を歌っています。とても楽しいです。 <地域住民>

わらべサロンの皆さんと子供たちの熱意が作品から溢れています。 <教職員>

高学年になると凝った作品になります。すごいです。 <地域住民>

高く泳ぐや～鯉のぼり♪♪

薨の波と～ 雲の波～ 重なる波の～♪♪

わらべサロンの皆さんが、毎月テーマを決めて、作成しています。材料の準備も含め、すべて自主的・自発的に行っていました。

「こども家庭庁」が目指していることは「こどもまんなか社会の実現」といわれています。子供の思いや考えを聞きながら制作し、心を込めて歌う。学校施設を活用した、地域の多様な人との楽しい活動が、子供の居場所となり、自分が自分でいられる場所となっていました。

